

清正公前変電所工事

発注者 : 東京電力㈱
施設所在地 : 東京都港区
調査見学時期 : 平成 9 年 3 月 4 日

工事概要

この変電所は、初めて公共用地である道路の下に建設される変電所で、地下鉄と地下駐車場と一体整備されることに大きな特徴があります。

今回の見学地となった港区白金・高輪地区は、地下鉄 7 号線の開業後、地域再開発等による電力需要増加が見込まれ、変電所の新設が検討されていました。そこへ、かねてから建設省との公共用地活用拡大の協議が進められていたなかで道路下の地下空間を利用した変電所設置案が提案されたとのことです。この検討を経て、平成 7 年に建設省・東京都・営団・東京電力により地下鉄駅舎・地下駐車場・変電所の一体整備に向けた基本協定書が締結され、その後、平成 8 年に土木工事の確認書を締結し、道路占有許可申請、建築確認申請がなされ着工に至ったとのことです。

今回、変電所部分はスラブ打ちの支保工組立の最中で現場内に入ることはできませんでしたが、深度 32m におよぶ地下空間の構築が最盛期を迎えている中、地下駐車場ならびに地下鉄の工区を見学させていただき、その工事概要、進捗状況などを伺うことができました。

従来、道路下は、地下鉄・地下街・地下駐車場・共同溝など公共の用に供する施設の建設が進められてきたわけですが、今回の施設は公共用地活用拡大という規制緩和の一つとして実現したものであり、今後の地下空間利用にとっても貴重な先進事例になるものと思われまます。(GECニュース第103号より抜粋)